

2014年 5月31日 WASA 鳥人間プロジェクト OB報告会

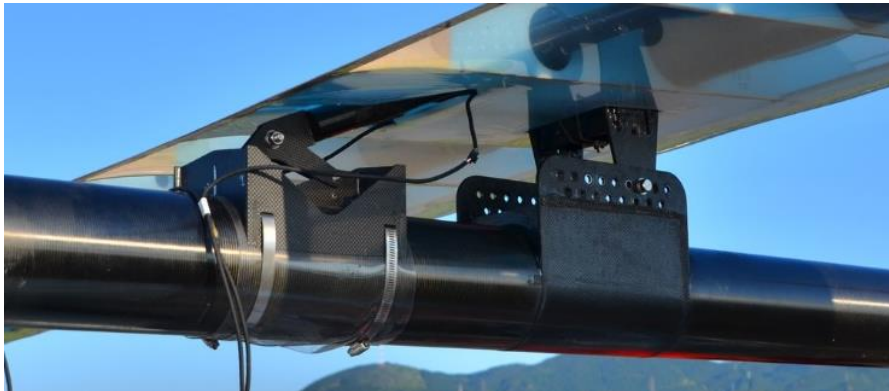
WASA 鳥人間プロジェクト 2013年度 報告

29代 駆動・フレーム班
宇多田 悟志

変更した点と結果

◆主翼取付部の高剛性化 ホースバンド→接着

- ロール調整の手間は少なくなった
- 主翼側の取付部に負荷が集中
- 応答性の向上



変更した点と結果

◆足回り

大径車輪, 3輪

- 車輪軸での抵抗増
- 前輪の高走破性
- 後輪(2輪)の低走破性
- 部品(構造)設計が難しい(重くなる)
- 既成品は楽



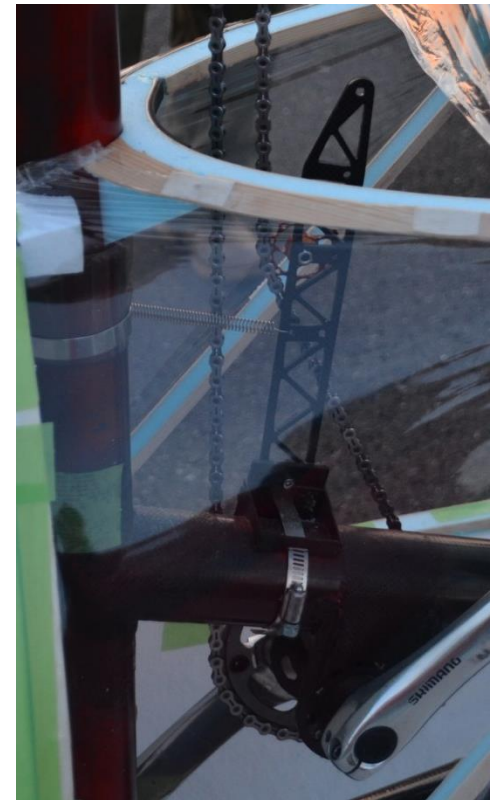
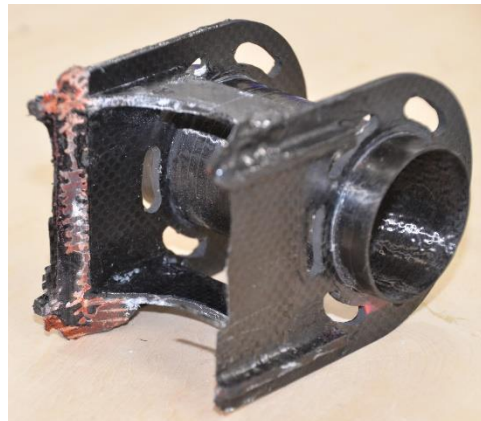
駆動系

◆ 前年度を移植

- 試験飛行 > 製作時間
- フレーム形状の違いがチェーンテンションに予想以上に影響した

◆ 下部に自作CFRP導入

- 軽量化
- 構造自体も簡素化
(▪ 接着剥離)



フレーム

◆ フレームの軽量化

接合部の過剰積層低減

→壊れたところ, 壊れなかったところ
適量がわかった

◆ 製作時間の短縮

重視する部分, 軽視して良い部分を区別



せっかくなので全体のコメント

- ◆ 接着について知識不足(WASA全体)
- ◆ 事実は事実として伝わるように
- ◆ 時間短縮ができてるのが良い
- ◆ 結果→仮設 の過程がわかりづらい
- ◆ 数字を使った検証ができると良い